

海外安全対策情報（令和3年1月～3月）

1 治安情勢と一般犯罪の傾向

(1) シカゴ市

シカゴ市警察が発表した統計によると、2021年1月1日から3月28日までの同市における主要犯罪(殺人、強姦、強盗、重傷害、侵入窃盗、自動車窃盗)の発生件数は合計8,800件となり、前年同時期比で約14%減少しました。

総数は減少傾向ですが、殺人は前年同時期と比較して+33%、自動車窃盗は+14%、けん銃等の発砲事件は+39%と増加していることから引き続き警戒が必要です。

また、シカゴ市周辺の一部自治体でも殺人や銃撃事件等の凶悪犯罪が増加しているため、ご注意願います。

地域的には、以前からシカゴ市南部及び西部の治安が劣悪なほか、中心部においてもひったくり等の犯罪が発生していることなど、南部及び西部以外の地域においても十分な注意が必要です。 主要な犯罪の発生状況は以下のとおりです。

シカゴ市内における主要犯罪の発生数

(2021年1月1日から3月28日までの間。前年同時期との比較)

	2021年	2020年	増減率
殺人	129	97	33%
強姦	451	486	-7%
強盗	1,688	1,819	-7%
重傷害	1,038	1,218	-15%
侵入窃盗	1,236	1,888	-35%
窃盗	2,077	2,793	-30%
自動車窃盗など	2,181	1,905	14%
けん銃等の発砲	565	407	39%

(2) 他の管内諸都市

シカゴ市と同様に各州の主要都市でも、危険とされる地域においては、徒歩では勿論のこと、公共交通機関や自家用車利用による立ち入りも控えるようにして下さい。また、安全とされる地域においても、深夜の外出を控えたり、人通りの少ない通りを避けたりする等犯罪に巻き込まれないための自衛

策が必要です。

(3) COVID-19 ワクチンにかかる詐欺

COVID-19 ワクチンの販売やワクチン接種の順番を早めるために支払いを要求するなど、ワクチンに係る詐欺行為が電話やメールなどを通して発生していることを受けて、シカゴ市は、これらの詐欺に注意するよう警告をしています。詳細については、当館ホームページをご覧ください。

【注意喚起】 COVID-19 ワクチンに係る詐欺行為の発生

<https://www.chicago.us.emb-japan.go.jp/files/100142249.pdf>

(2021年1月26日付)

- HHS-OIG ホットライン : 1-800-HHS-TIPS; hhs.gov COVID-19
- FBI ホットライン : 1-800-CALL-FBI; ic3.gov
- CMS/メディケアホットライン : 1-800-MEDICARE
- Covid19vaccines@cityofchicago.org - COVID19 ワクチン専用

(4) 電話や電子メールによる詐欺

治安機関の職員を語り、現金を騙しとろうとする詐欺事件が発生しています。警察等の治安機関や社会保障局といった組織が電話で現金の支払い要求をすることは有り得ませんので、そのような電話は詐欺である可能性が極めて高く、安易に個人情報等を教えないようご注意ください。また、クレジットカード情報やアカウント情報等といった重要な個人情報を盗み出すフィッシング詐欺事案も発生していますので、ご注意ください。

詳細については、当館ホームページをご覧ください。

【注意喚起】 電話や電子メールによる詐欺被害にあわないために

<https://www.chicago.us.emb-japan.go.jp/files/100176976.pdf>

(2021年4月15日付)

2 シカゴ中心部の犯罪傾向

シカゴ市警が発表している、シカゴ中心部で発生している犯罪の特徴は以下の通りです。

- レストランやカフェで食事中、スマートフォンをテーブルに置いたままトイレに行き、その間にスマートフォンを盗まれる。
- 見知らぬ人に話しかけられ、答えている間に他の仲間がスリを行う（主に若い黒人男性が使う手口）
- 人が多いエレベーターや回転扉で自分の降りる階や順番に気を取られている間にスリの被害に遭う。

- トイレの個室を使用中、個室内のフックに掛けたバッグ等を個室外側から手を入れられて盗まれる。
- ライドシェアを装い、夜間酔っ払いに近づいて乗車させ、クレジットカード等を盗む（使われる車は偽造したライドシェアのステッカーが貼られたりして本物と間違いやすくなっている）
- 多数の若者が街を徘徊しながら歩行者を襲撃して金品を奪う。

《シカゴ警察からの被害に遭わないためのアドバイス》

- カバンを持つときはたすき掛けにせず、利き手と反対側の肩に掛けて持つ。（たすき掛けにすると引き倒されて負傷する恐れがある。利き手の反対側の肩に掛けるのは利き手で攻撃に対する防御が出来る可能性があるため。但し犯人は武器を持っている可能性があるため原則抵抗はしない。）
- 電車やバスの座席に座る場合は荷物を自分の前に置く。
- 公共の場所で金品やスマートフォンを見せたり、使用しない。
- ヘッドフォーンを装着したまま歩いたり、スマートフォンを使用しながら移動しない。
- 車両、人通りが多い道を使用する。
- 車の運転手から声を掛けられたり、嫌がらせを受けた時は逆方向に立ち去る。
- 外出する際は行き先、ルート、帰宅時間等を家族に伝えておく。
- 財布は後ろのポケットに入れず、前のポケットに入れる。
- 高級ブランド品、高価な宝飾品を持ち歩かない。
- 知らない人に自分の個人情報、家族等の情報を言わない。
- 家の鍵、車の鍵、財布をそれぞれ別に持つ。同じバッグに入れてしまうと全て同時に盗まれる可能性がある。
- エレベーターに乗る時、不審な人物が乗っていたら同乗しない。
- 周囲に注意を払い、誰かにつけられていないかを確認する。つけられていると感じたときは、人通りの多い場所や近くの商店に入る。
- 車両を駐車する際は、明るい場所を選んで駐車する。
- 車内に荷物等を置く場合は、外から見えないトランク内に保管する。
- ガソリンスタンドで給油する際はエンジンキーから鍵を抜くこと。また、車内に貴重品を置いたまま、車外へ出ないようにすること。

3 アジア系市民に対するヘイトクライム・ハラスメントの増加

全米において、アジア系市民に対するヘイトクライムやハラスメントが発生しています。在留邦人の方が当事者となるケースも確認されています。今後

も根拠のない情報に基づいた個人的偏見によるヘイトクライムやハラスメントがアジア系市民に向けられる可能性があることから、未然に危険を回避し、ご自身の安全を守る行動を取るよう、十分注意してください。

一般的な安全対策と同様、以下の点に注意し、ご自身の安全を守る行動を優先するように心掛けてください。

- 暴力被害に遭う恐れを少しでも感じた場合には、すみやかに現場から離れる。
- 見知らぬ者から注意を引くような言動をされても、相手にしない。
- 車両から声かけや嫌がらせを受けた場合は、車両と反対方向に立ち去る。
- 身の危険を感じたら、大声で周囲に助けを求める。
- 深夜の一人歩き等危険を招きやすい行動は可能な限り避け、なるべく複数名で行動する。
- 相手を不必要に刺激しない。

万が一、ヘイトクライム等の被害に遭った場合には、警察（911番）に通報して頂くとともに、当館にもご連絡をお願いいたします。

シカゴ市ヘイトクライム通報窓口

Chicago Commission on Human Relations (CCHR)

312-744-4874 312-744-2571

https://www.chicago.gov/city/en/depts/cchr/supp_info/file_a_discriminationcomplaint.html